

かわさきしかんきょうそうごうけんきゅうじょ
川崎市環境総合研究所

2019年度 多摩川河口干潟の生きもの観察会 第6回

2019年7月29日（月）

9：30～12：30

	プログラム
9：15	うけつけかいし 受付開始
9：30	かいかい 開会
9：40	はな ひがた お話し「干潟ってなんだろう」（10分）
9：50	かい みず じょうかじっけん 貝による水の浄化実験
9：55	み なが 身じたく（ライフジャケット・長ぐつなど）
10：10	さいしゅ 干潟に出て生きもの採取
10：45	のきした いどう 干潟から上がり、研究所の軒下へ移動 ライフジャケット・長ぐつをぬぎ、きゅうけい 休憩
10：55	かいせつ かんさつ 採取した干潟の生きもの解説・観察
11：10	かいぎしつ 会議室へ移動
11：15	スケッチ教室
12：15	けっかかくにん 貝による水の浄化実験の結果確認とまとめ
12：30	へいかい かいさん 閉会・解散

※天候により、プログラムを変更することもあります。

生きものスケッチ講座



講師 エラヒロアキ

●なぜスケッチをするのか？

デジカメやパソコンなど便利な道具が身近になった今でも、大学の生物学などでは今もスケッチは大事な授業の一つです。それはスケッチほど生きものを良く観察する方法は他にないからです。

●スケッチをする時、意識して欲しいこと

生きもののかたちには「くらし」と「れきし」がぎざまれています。

- ・「くらし」とは生息環境
- ・「れきし」とは長い長い進化の歴史です。

暮らしと歴史のちがいが長い年月をかけて、形のちがいとなって表れています。そんな事を感じながらスケッチをすると色々と見えてきます。



●むずかしい場合は部分に注目してみるのも良いです

例えば、カニの目の長さなど、部分に注目して、何種類か描いてみるとそのちがいを学ぶことができます。



イシガニの右と左のはさみ



オサガニのはさみ